

稲作情報

秋田地域振興局 農林部 農業振興普及課

No.4

TEL:018-860-3410

FAX:018-860-3834

茎数多い！直ちに中干し開始！！

1 気象経過と生育状況

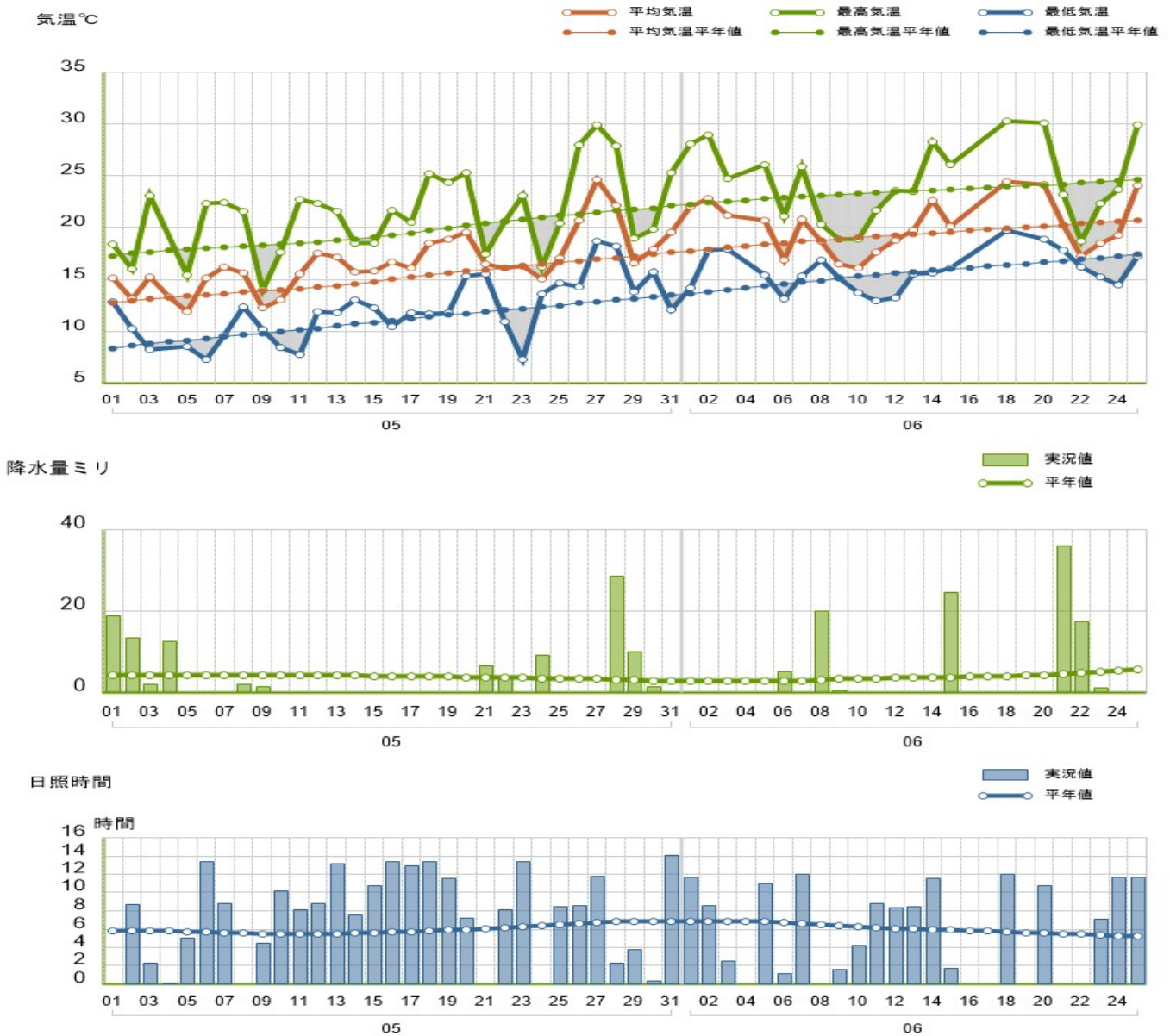


図1 気象経過と平年値(アメダス秋田、秋田農業気象システムから引用)

〈概況〉 5月下旬から6月にかけて平年を大きく上回る高温・多照が続いたことにより、分けつが旺盛に進んでいます。6月25日の定点調査結果(あきたこまち)では、草丈は40.5cm(平年比102%)、茎数は505本/m²(平年比126%)、葉数は9.6葉(平年差+0.5葉)でした。生育が進んでいることから、茎数が多くなっており、田植が遅いほ場を除いて茎数は確保できています。茎数が過剰となっているほ場も多いことから直ちに中干しを開始しましょう。

表 水稻定点調査結果(6月25日調査)

	本年	比較	
		平年比・差	前年比・差
草丈	40.5cm	102%	94%
茎数	505本/m ²	126%	128%
葉数	9.6葉	+0.5葉	+0.4葉
葉色 (SPAD)	42.9	97%	98%

※ 管内定点ほ場10地点(あきたこまち)の平均値

2 今後の水管理および中干し・溝切り

あきたこまち(目標収量 570kg/10a、中苗)の目標穂数は 440 本/m²です。目標茎数(本/株)の目安は 70 株/坪は約 20 本/株、60 株/坪は約 23 本/株、50 株/坪は約 28 本/株です。

6月 25 日頃(8.5 葉期頃)が目標茎数(目標穂数と同じ茎数)を確保する目安時期ですが、本年は田植えが遅かったほ場以外は茎数を確保できているほ場が多くなっています。

それぞれのほ場の生育状況を確認し、適切な時期の対応をお願いします。

- ① 目標茎数を確保していないほ場では、浅水管理で水温と地温を高め、分けつの発生を促進してください。茎数が十分に確保できない場合は中干しの開始を遅らせましょう。
- ② 目標茎数を確保したほ場では、直ちに中干しを行い分けつの発生を抑制します。
期間は7~10 日程度、田面に亀裂が1~2cm 入り、足跡が付く程度とします。
- ③ 溝切りは、その後の水管理や秋作業の効率化につながるため、積極的に実施しましょう。
- ④ 幼穂形成期(7月 15 日頃)に土壤水分が不足すると1穂粒数が減少するため、中干しは幼穂形成期前には必ず終了してください。
- ⑤ 中干し後は間断かん水を基本としますが、減数分裂期頃は低温に弱い生育ステージとなるため、今後の気象経過に注意し、低温時は深水にして保温してください。

3 病虫害防除は適切に実施

① いもち病(葉いもち)

農作物病虫害発生予察情報発生予報第2号(6月予報)では、葉いもちの発生開始期は「やや早い」、発生量は「やや多い」と予想されています。BLASTAM 法による判定(秋田)では6月 23 日に「感染好適条件」となりました。発生開始期はやや早い予想となっているため、ほ場を巡回し、余り苗や本田での発病状況を確認しましょう。また、余り苗はいもち病の伝染源となるため、発病の有無にかかわらず、直ちに泥の中に埋めて処分してください。



写真 葉いもちの病斑

② 斑点米カメムシ類(第2世代)

6月 22 日に病虫害防除所から発表された防除対策情報第5号によると、イネ科雑草が出穂している畦畔で発生が多い状況でした。また、発生予報第2号(6月予報)では斑点米カメムシ類(第2世代)の発生時期は「早い」、発生量は「平年並」と予想されています。農道・畦畔、休耕田に出穂しているイネ科雑草が多いと斑点米カメムシ類の発生量が多くなることから、稲が出穂する 15~10 日前まで継続して除草(草刈り)を行い、イネ科雑草が出穂しない管理に努めます。なお、草刈りは可能な限り地域で一斉に行ってください。

また、水田内に雑草が多発すると、アカスジカスミカメの水田内への侵入が助長されるため、水田内雑草が発生している場合は発生雑草の草種や生育程度を観察して、適切な中・後期除草剤を選択し、雑草防除を徹底してください。

4 大雨対策について

6月21日に東北地方が梅雨入りしたとみられ、6月25日に仙台管区気象台より発表された東北地方1か月予報によると、気温は高く、降水量と日照時間ともにほぼ平年並みと予報されています。集中豪雨の発生に備え、大雨によりほ場が冠水・浸水した場合に速やかに排水されるよう、事前に排水溝や排水路の点検を行ってください。また、水路が増水している場合は、危険ですので絶対に近づかないでください。

5 熱中症対策について

この時期はまだ暑さに身体が慣れていないため、熱中症のリスクが高まります。のどが渇く前に水分補給を行い、同時に塩分も摂取しましょう。少しでも不調を感じたときは無理せず休むようにしてください。

県(水田総合利用課)の情報発信 LINE アカウントをご活用ください!

* 県内の水稲生育状況
* 水稲・大豆の技術情報
* 異常気象対策 など
様々な情報が発信される予定です。



友達登録はこちらの
QRコードから!

◇次号は7月7日頃の予定です。